

# あなたならどの会社に入社する？

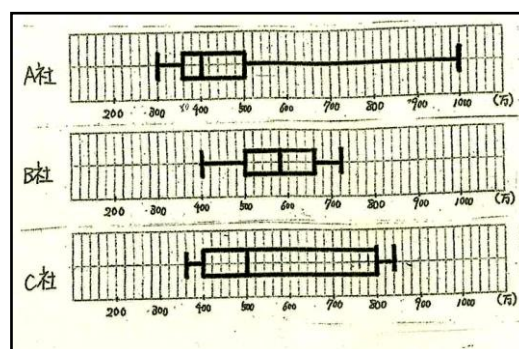
単元	箱ひげ図とデータの活用	対象学年	2年
ねらい	与えられた複数の箱ひげ図から、分かることを読み取り、さまざまな視点から多面的・批判的に考察することができるようにする。		

## 1 準備するもの

教師：3つの会社の年収データをまとめた箱ひげ図の拡大図  
 生徒用の箱ひげ図を印刷したプリント

## 2 学習のしかた

- (1) それぞれの会社で働く30人の年収をまとめた箱ひげ図を提示する。
- (2) あなたならどの会社に入社したいかを問う。
- (3) 個人追究で、自分だったらどの会社に入社するのかとその理由を問う。



<予想される考え>

<自分の考え>	
A社	理由 最大値が1000万まで出せており、か人はほぼ他の会社より多くもらえるから。

<自分の考え>	
B社	理由 A社は箱が左の方によっていて、C社は四分位範囲の中でもバラついていて、より安定している方がよいから。

- (4) チームや全体で話し合う。  
 <各会社を選ぶ主な理由>
  - ・ A社…「1000万円を目指せる」「やりがいがある」
  - ・ B社…「最小値と中央値が低く、範囲がせまいため年収が安定している」「年収500万円以上の方が75%で割合トップ」
  - ・ C社…「最小値も最大値も低すぎないこと（3社中2位）」「年収500万円以上が50%と高く、最大値がB社より高い」
- (5) 振り返りをする。

## 3 学習上の留意点

- ・ 本授業は本単元の最後の授業として扱う。
- ・ 箱ひげ図については、各会社の社員から無作為に抽出した30人のデータをまとめたものとする。
- ・ A社のひげの部分が長いことに着目させることで、年収が1000万円の人是一名で、残り

は 500 万円である可能性もあることに気付けるようにし、箱ひげ図では細かい分布までは分からないという批判的な考察もできるようにしたい。

#### 4 学習の効果

- ・ 2 年生は職場体験や総合的な学習で働くことの意義などを学ぶ時期であるため、数学が苦手な生徒も興味をもって取り組むことができる。
- ・ 全体追究では、反論意見を問うことで箱ひげ図について多面的・批判的に考察する意見を引き出すことができる。

#### 5 参考資料

